

強者の戦略

こんにちは、日本史の岡上です。いよいよ、夏到来ですね。受験生にとっては言うまでもなく勝負の夏がやってきました。「まあ、こんなもんかな」なんて自分で限界を決めることなく、「どこまでできるかな」と自分の可能性を試し続ける夏にして欲しいと思います。

さて、第6回となる今回は 2010 年の東大日本史の第2問を取り上げてお話をしていきたいと思います。さあ、まずは1週間、しっかり問題を考え、自分なりの解答を作成してみてください。

【2010年度 東京大学 文科前期 第2問】

次の(1)～(3)の文章を読んで、下記の設問A～Cに答えなさい。

- (1) 次の表は、平安末～鎌倉時代における荘園・公領の年貢がどのような物品で納められていたかを、畿内・関東・九州地方について集計したものである。

畿内

国名	米	油	絹	麻	綿
山城	17	6		1	
大和	27	7	2		
河内	8	1			
和泉	2	1	1		1
摂津	13	2		1	

九州地方

国名	米	油	絹	麻	綿
筑前	13				
筑後	6		3		1
豊前	1				
豊後	3				
肥前	4				
肥後	7		4		
日向	1				
大隅	1				
薩摩	3				

関東地方

国名	米	油	絹	麻	綿
相模				3	
武蔵			2	2	
上総	1	1		4	3
下総			1	1	1
常陸		1	5	1	2
上野				1	
下野			3	2	

数字は年貢品目の判明した荘園・公領数。

主要な5品目のみを掲げ、件数の少ないその他の品目は省略した。

網野善彦『日本中世の百姓と職能民』より作成。

強者の戦略

(2) 次の史料は、1290年に若狭国太良荘から荘園領主である京都の東寺に納められた年貢の送り状である。

進上する太良御庄御年貢代銭の送文の事

合わせて十五貫文てへり(注)。但し百文別に一斗一升の定め。

右、運上するところ^{くだん}件^{ごと}の如し。

正応三年九月二十五日

公文(花押)

御使(花押)

(注) 合計15貫文の意。

(3) 摂津国兵庫北関の関銭台帳である『兵庫北関入船納帳』には、1445年の約1年間に同関を通過した、塩10万600余石、材木3万7000余石、米2万4000余石をはじめとする莫大な物資が記録されているが、そのほとんどは商品として運ばれたものであった。

設問

- A 畿内・関東・九州の年貢品目には、それぞれどのような地域的特色が認められるか。(1)の表から読みとれるところを2行(60字)以内で述べなさい。
- B (1)の年貢品目は、鎌倉時代後期に大きく変化した。その変化とはどのようなものであったか。(2)の史料を参考にして1行(30字)以内で説明しなさい。
- C 室町時代に(3)のような大量の商品が発生した理由を、(1)(2)の内容をふまえて2行(60字)以内で説明しなさい。